



クールジャパン人材育成の課題について

平成29年3月21日
クールジャパン機構
(株式会社海外需要開拓支援機構)
代表取締役社長 太田伸之

～日本でのファッション人材の教育～

- 長い間、ファッション人材は服飾専門学校に依存
- 四年生大学でファッションは「家政学部被服学科」(女子大)
- 男性入学が承認されなかった歴史

※ドレスメーカー学院

(杉野女子大学→杉野服飾大学:2002年男女共学開始)

※文化服装学院(文化女子大学→文化学園大学:2011年)

～専門技術に偏った人材育成～

- 専門学校はデザイナーを多数輩出
- 人材は質量ともにほぼ世界水準
- しかし、世界で通用する「目利き」ビジネスマンは非常に少ない

⇒ 1992年 (財)ファッション産業人材育成機構を設立

学校法人ではなく財団法人の限界

～ビジネスの現場で求められる人材～

- ーブランドマネジメントできるプロデューサー育成が急務
 - ・クリエイションの理解(目利き)
 - ・時代を予見する力(マーケティング)
 - ・世界と渡りあえる人材

～新設される「専門職大学」への期待～

- ー単なるデザイナー養成ではなく起業できるデザイナーの育成
 - ・「作品」ではなく「商品」という発想
- ー欠乏しているプロデューサー人材の育成をどうするか
- ー「専門職大学」をどう結びつけるか
- ー産学官連携していかに実践教育ができるかがカギ
 - ・教授陣の資格基準の緩和(ビジネス実績のない講師より実績のある専門家の登用)
 - ・海外人材を積極的に受け入れる大学のルール

～ファッションの中心地のパリ・ニューヨークでは海外人材が活躍～

- ー ヨーロッパの老舗ブランドを再生したのは米国人デザイナー
- ー 「商品」をクリエイトできる人材は米国に多い

例) 欧州老舗ブランドを再生した米国人デザイナー

「ルイヴィトン」	マーク・ジェイコブス	(Marc Jacobs)
「セリーヌ」	マイケル・コース	(Michael Kors)
「ロエベ」	ナルシソ・ロドリゲス	(Narciso Rodrigues)
「グッチ」	トム・フォード	(Tom Ford)

- ー ニューヨークでは中国系クリエイターが活躍
- ー PARSONS (デザイン総合大学)学生の半数以上はアジア系

例) NYで活躍する中国系クリエイター

アレキサンダー・ワン	(Alexander Wang)
デレック・ラム	(Derek Lam)
ジェイソン・ウー	(Jason Wu)
アナ・スイ	(Anna Sui)
フィリップ・リム	(Phillip Lim)

[取り組むべき3つの課題]

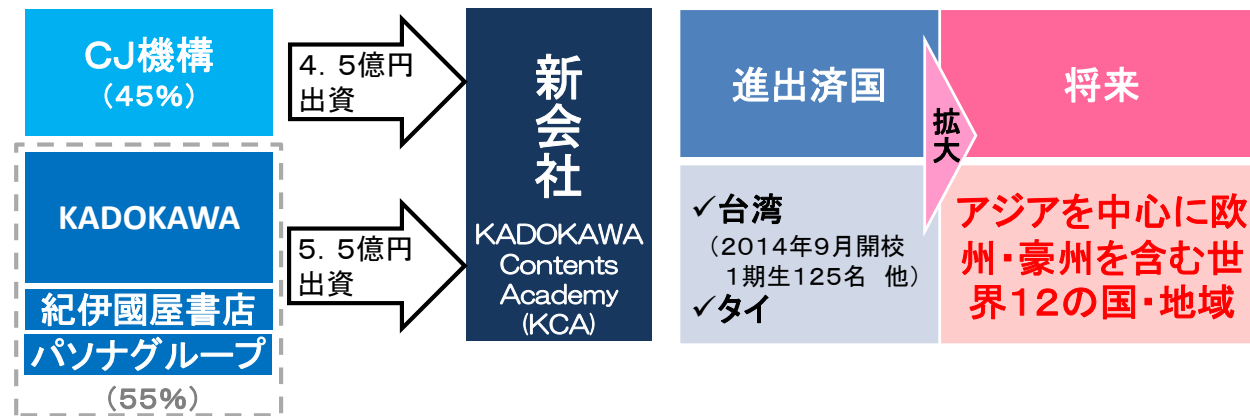
- コンテンツを理解できるプロデューサーの育成
- 起業できるクリエイター・シェフの育成
- 日本で学びたいと思う、人材の流れ

クールジャパン機構での人材育成に係る取組

～優れた人材を日本に呼び込む環境づくり～

- KADOKAWA社とともに、日本コンテンツの「クリエイター人材育成スクール」を世界12の国・地域で展開する投資事業を実施。
- 海外で、マンガ・イラスト・声優・小説等の分野で日本コンテンツを海外展開する高度なクリエイター人材を育成する事業。

<事業概要> 総事業費:10億円



KADOKAWA Contents Academy 台湾校
(写真提供:同スクール)

- ⇒ 卒業生の日本企業への就職や、現地での日本コンテンツの共同制作等を通じて、コンテンツの海外展開のための人材育成プラットフォームの一翼として期待
- ・海外で日本コンテンツを制作できる優れた人材を発掘・育成
 - ・日本企業でその才能を発揮し、日本企業の海外ビジネスの裾野を拡充

(参考)クリエイター育成スクール(KCA)の現状

- ー 当機構の出資から2年を経て、一期生が卒業したところ。
- ー 卒業生による各賞の受賞や日本コンテンツ関連企業への就職等、海外人材の日本への展開が少しずつ形に。

～卒業生の活躍～

日本企業との実践業務

◆就職

- ー 大手日系モバイルゲーム会社への就職

◆デビュー

- ー プロデビューに向け出版社・編集者によるサポート決定

◆業務請負

- ー 日系企業からマンガ・イラスト制作の業務を受託
- ・ 日系自動車 メーカー 広告挿画制作
- ・ スマートフォンゲーム向けCGイラスト制作等

各賞の受賞等

◆受賞例・制作例等

- ー 京都国際マンガ・アニメフェア 漫画賞(ファイナリスト選出)
- ー 台湾現地大手出版社による漫画新人賞コンテスト受賞
- ー 人気トレーディングカードゲームのキャラクターデザイン採用
- ー Webコミックサイトへの作品掲載

ースクールビジネスの課題ー

- ①卒業生の雇用(出口)の確保
- ②コースの魅力アップによる入学生の確保
- ③スクールの収益性確保のための副業的仕掛け

世界中から優れた人材が日本に集まり、活躍できる環境を作ること

やるべきこと

- 国内人材育成拠点(総本山)と海外拠点の拡充とネットワークの強化
- 海外拠点の卒業生が日本で更なる能力アップに取り組む環境づくり

○海外からの留学生への奨学金制度の充実等

※海外の大学の例 Central Saint Martins芸術大学(ロンドン)
PARSONSデザイン総合大学(NY)

○海外からの研修や就業等の柔軟化(ビザや研修支援等)

- 技術やビジネスノウハウを習得した国内外の人材によるビジネス創出

日本に人材が集まる

クールジャパン人材育成のプラットフォーム(「クールジャパンの総本山」)

(産官学の総力を結集し、各分野で世界の人材が日本に集まり、
技術を磨き、ビジネスを創出する流れを創出すべき)